

「第14回 海の再生全国会議」

2月12日、東京海洋大学にて海の再生全国会議が開催されました。主催者である関東地方整備局森港湾空港部長からは、東京湾における大感謝祭、浚渫土砂の有効利用や環境データベースなどの取り組みが紹介されるとともに、より広い関係者（従来の関係者を越えた方々）の関心を得る必要があることが強調されました。

基調講演では、放送大学來生新学長より、10年の夢の実現の難しさ（人口、興行、船舶、漁業、レジャー全てにおいて縮小・減少傾向）や官民連携フォーラムにおける新たな取り組みが紹介されるとともに、まとめとして、①異なる意味での豊かさの追求、②成熟した市民社会の構築、③環境と自然・安全と安心の共存を目指すべきとされ、まだ余裕のある今のうちに方向性を変える（公共投資の多様化、官民連携、仕組みの安定化）などに取り組むべきと指摘されました。

その後、社会教育施設（東京湾の窓 PT、芝原氏）や浚渫土活用（千葉港湾・西谷所長）、ブルーカーボン事業（横浜市・井川氏）などの話題提供、4つの湾からの取り組みの紹介がありました。特に、広島湾では「広島里海ネットワーク」といった新たな市民連携が始まりつつあるということが注目されました。

第14回 海の再生全国会議

東京湾の未来にむけて
～力をあわせて取り組む東京湾再生～

日時：令和2年2月12日(水)
13:30～17:00（開場13:00）
場所：東京海洋大学 薬水会館
定員：200名

参加費
無料

プログラム

13:30 【開会】
【主催者挨拶】
13:40 【基調講演】
「東京湾再生の近未来—2020年～30年の夢—」
放送大学 学長/東京湾再生官民連携フォーラム 議長 泉生 新 氏

14:15 【話題提供】
「東京湾再生における社会教育施設の役割と連携について」
香澤千歳自然体験センター 副所長 笠原 達也 氏
「海上建設衛生士を活躍した環境改善の取り組み」
関東地方整備局 千葉港湾事務所 所長 西谷 和人 氏
「横浜ブルーカーボン事業」
横浜市 環境文化戦略推進部 プロジェクト推進課長 岡崎 修司 氏

15:15 【休憩】
15:30 【報告】
「伊勢湾再生の取り組みについて」
中部地方整備局 企画部 建設専門官 丹羽 隆志 氏
「大阪湾再生の取り組みについて」
近畿地方整備局 企画部 技術企画官 宇戸 孝一 氏
「広島湾再生の取り組みについて」
中国地方整備局 企画部 技術企画官 岡式 利弘 氏
「東京湾再生の取り組みについて」
関東地方整備局 環境企画部 事業継続計画官付 佐藤 貴功 氏

16:50 【閉会】

主催：国土交通省関東地方整備局
後援：東京湾再生推進会議、大阪湾再生推進会議、伊勢湾再生推進会議、広島湾再生推進会議
協賛：東京湾再生官民連携フォーラム、東京湾の環境をよす市民の行動する会